

指導計画の作成に当たって

■指導体制の確立と指導計画の作成

平成 29 年告示の新学習指導要領の重要な改訂点のひとつとして、第 1 章総則第 1 の 4 に示された「カリキュラム・マネジメントの充実」に努めることが求められた点をあげることができます。

学習指導要領において、カリキュラム・マネジメントは、
「・生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、
・教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、
・教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと」
などを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと」と定義されています。

こうした観点を踏まえて、道徳教育については、第 6 に「道徳教育に関する配慮事項」が示されています。この項では、道徳教育の指導体制とともに道徳教育の全体計画の作成について、「校長の方針の下に、道徳教育の推進を主に担当する教師（以下「道徳教育推進教師」という。）を中心に、全教師が協力して、道徳教育を展開すること」と明記されています。この指導体制についての配慮事項は前学習指導要領より引き継がれているところです。カリキュラム・マネジメントの充実に向けて、特別の教科として新たにスタートを切る道徳科を要とし、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を組織的・計画的に展開するため、より具体的かつ実効性のある道徳教育の全体計画及び道徳科の年間指導計画の作成が求められているといえるでしょう。

■道徳教育の全体計画作成について

道徳教育の全体計画は、まず道徳科を要とした道徳教育の指導体制が分かる構造を示す必要があります。また、従前同様、いわゆる全体計画の別葉として作成されることの多い、道徳の内容（学習指導要領第 3 章特別の教科道徳の第 2 に示す内容）との関連を踏まえた各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における指導の「内容及び時期」を示す必要があると明示されています。他の教育活動との関連を踏まえた「内容及び時期」を示すということは、全体計画がそれだけ詳細に検討されなければならない、校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心に全教師がその作成に携わらなければなりません。

この視点から全体計画作成の手順を整理すると、各教科等の教育内容（活動）の内容及び時期と、道徳の内容とを縦横に配列する、いわゆるマトリックスで関連付ける方法が効

果的であることが分かります。新年度に向けた諸計画立案に際し、全教師が各教科等の内容及び時期と道徳の内容を関連付けるプロセスに参加することで、再構成が図られた道徳の内容（項目）について学習する機会ともなるでしょう。

■道徳科の年間指導計画作成について

道徳科の年間指導計画については、学習指導要領第3章第3の1で、その作成が求められています。検定教科書が導入されることになった道徳科では、主たる教材として教科書の使用義務が発生することが、今までの道徳の時間とは大きく異なるところででしょう。その一方で、道徳科においては多様な教材の開発や、それらを活用した創意工夫ある指導も求められており、地域教材の開発や活用に努めることも望まれています（第3章第3の3）。また、従前同様、各学校の重点目標等も考慮し、道徳の各内容の年間取扱時数を決定していくに当たり、必ずしも教科書で取り扱う各内容項目の教材数が、各学校で重点的に取り扱いたい内容項目の教材数と一致するとは限りません。

このことから、年間指導計画作成に当たっては、教科書を中心的な教材として位置付けながらも、多様な教材を活用し、学校の特色が表れた年間指導計画の立案が求められるところです。なお、年間指導計画は生徒の道徳性を養う観点から意図的・計画的に作成されるものであり、年度途中での変更は「学年などによる検討を経て校長の了解を得ることが必要である」（学習指導要領解説）ことから、計画作成に当たっては道徳教育の全体計画に基づき、十分な吟味の上、慎重かつ綿密に立案されるべきものといえるでしょう。

■諸計画作成のサポートをするテンプレート&ツール

①道徳教育の全体計画案（構造図テンプレート）

②道徳教育の全体計画別葉作成ツール

③道徳科の年間指導計画案（テンプレート）

弊社では、学習指導要領及び解説の趣旨に基づいた諸計画作成をサポートするため、これらのテンプレートやツールをご用意しました。いずれも、本ウェブサイトよりダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

①道徳教育の全体計画案としてご用意した構造図は、予め学習指導要領総則及び解説に示される全体計画の内容を網羅したテンプレートです。各学校の実態を踏まえて適宜加工の上、ご使用ください。

②道徳教育の全体計画別葉作成ツールは、各教科等と道徳との「内容及び時期」を別葉として示すことができる一覧表を作成するためのサポートツールです。各教科で使用している教科書を選択していただくと、各教科等の月ごとの学習（指導）内容とともに道徳の内容との関わりが表示されます。教科書掲載教材以外の教材との差し替えにも対応しており

ますので、各学校の実態を踏まえて適宜、加工いただくことで、具体性をもった学校独自の別葉を作成することができます。

③道徳科の年間指導計画案（テンプレート）は、弊社発行の道徳科教科書の掲載配列順に、月ごとに主題名、内容項目、教材名、ねらい、学習指導過程（主な発問など）、各教科や他の教育活動、現代的な課題等との関連を学年別に一覧にしたものです。各教材の主題名、ねらい、学習指導過程（主な発問など）は、教師用指導書「朱書編」の掲載予定内容及び「実践編」の授業展開例Aとして掲載予定の記載に準じておりますが、いずれも現在編集中のため、一部は異なる場合もございます。予めご承知おきください。

本教科書は、生徒の発達段階に応じ、各教科や他の教育活動、行事等との時期的・内容的関連を考慮して配列をしておりますので、掲載順にご使用いただいても全教育活動との関連を踏まえた効果的な学習ができますが、先に述べた通り、各学校の実態に応じて加工の上、ご活用ください。

なお、教科書の詳しい内容は、本ウェブサイトに掲載しております内容解説資料をご参照ください。